

ALESIS[®]

PRESTIGE

ユーザーガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク



このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。



このマークは、適切な電圧で機器をしないと、感電の恐れがあるという警告です。



このマークは、ご利用出力コネクターが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、以下の使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を必ずお読みください。
2. 注意事項を必ずお守りください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むその他の音楽機器など、熱を生じる機器の近くには置かないで下さい。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに乗せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフターサービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 主電源プラグまたはアダプターをコンセントからいつでも抜ける状態にしておいてください。
17. 本装置をアンプに接続して、ヘッドホンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
18. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
19. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。



このマークのついた製品は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に、アダプターのアース線を接地してご使用ください。

製品保証規定

1. 製品の保証期間はご購入日より一年間です。
2. ご購入時の納品書・領収書がご購入証明になります。紛失しないよう大切に保管してください。
3. 保証期間内の無償修理はお買上げの販売店にご依頼の上、購入証明をご提示ください。
4. 贈答品などでお買上げ販売店が不明な場合には、弊社カスタマーサポート部へご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
 - (イ) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買上げ後の移動や落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - (ニ) 消耗部品の交換。
 - (ホ) 購入証明のご提示がない場合。
 - (ヘ) 購入証明にご購入日および販売店名の記載がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
6. inMusic Japan は製品の使用不可能または不具合に基づく損害、また法律の定める範囲内での人身傷害を含める、いかなる二次的および間接的な損害賠償の責任を負いません。保証条件や本保証に基づき inMusic Japan が負う責任は販売国の国内でのみ有効です。本保証で定められた修理は inMusic Japan でのみ行われるものとします。
7. オークションなどを含む中古販売品・個人売買品・未開封品の二次販売等は本保証の対象外となります。
8. 修理およびその他ご不明な点につきましては、弊社カスタマーサポート部へご連絡ください。

inMusic Japan 株式会社 カスタマーサポート部

東京都港区南麻布 3-19-23 オーク南麻布ビルディング 6 階

[Web] inmusicbrands.jp

[サポート] www.inmusicbrands.jp/support/

ユーザーガイド

はじめに

同梱品

Prestige 本体
電源アダプター

サステインペダル
ユーザーガイド

譜面台

ソフトウェア・ダウンロードカード

サポート

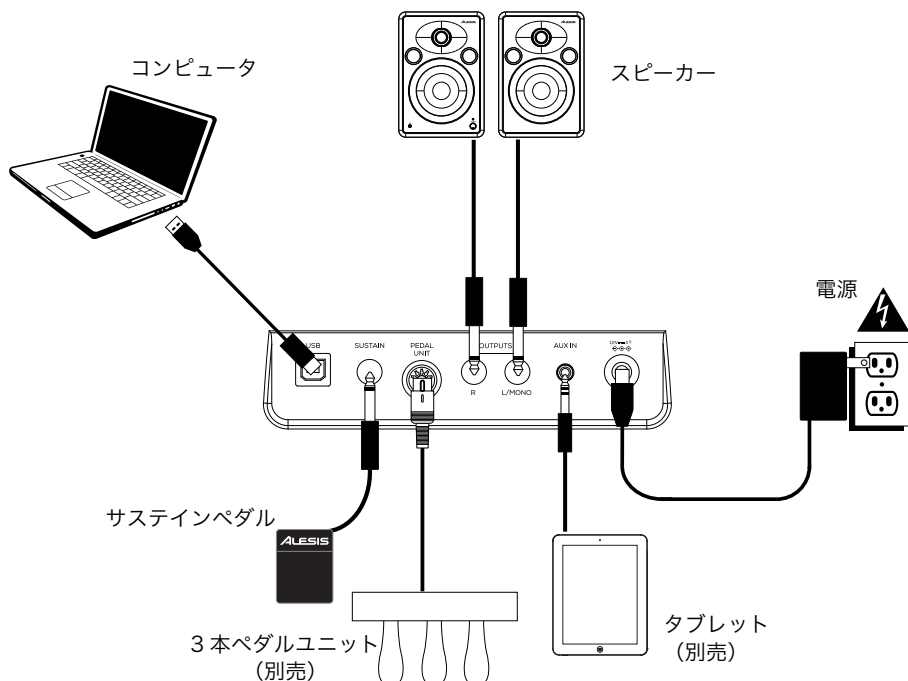
本製品に関する最新情報（システム要件、互換性情報など）および製品登録は alesis.com をご参照ください。

サポート情報は alesis.jp/support/ をご参照ください。

設定

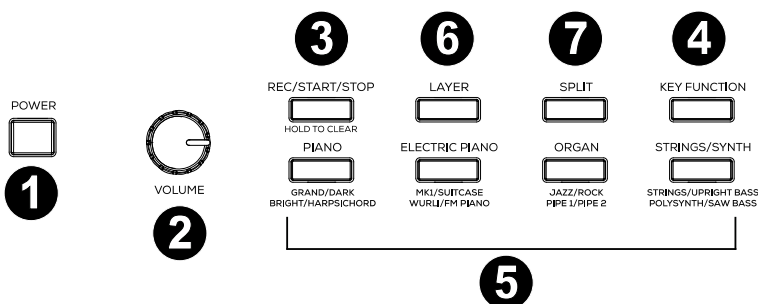
接続例

はじめに>同梱品に記載のないものは別売りです。



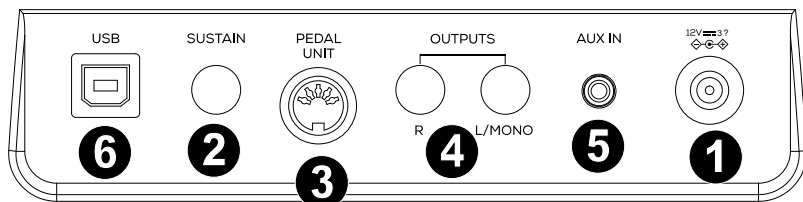
機能

トップパネル



1. **電源スイッチ**：本体電源の ON/OFF を切り替えます。
2. **VOLUME ノブ**：LINE 出力、ヘッドホン出力（1/4"出力および 1/8"出力のいずれか）の音量をこのノブで調節します。
注意：内蔵スピーカーから音が出ない場合、VOLUME ノブが最小の音量に設定されていないか、または**ヘッドホン出力**にヘッドホン（もしくはヘッドホンプラグ）が接続されたままになっていないかご確認ください。**ヘッドホン出力**に（1/4"出力および 1/8"出力のいずれも）ヘッドホンやヘッドホンプラグが接続されたままになっていると、内蔵スピーカーから音は出ません。
3. **REC/START/STOP ボタン**：ユーザーソングの録音/録音の停止/再生/停止、およびデモソング/メトロノームの停止はこのボタンで行います。
現在のユーザーソングを消去するにはこのボタンを長押しします。
4. **KEY FUNCTION ボタン**：このボタンを押しながら 88 鍵のいずれかを押すと、各機能の設定を行うことができます。
5. **VOICE 選択ボタン**：VOICE プリセットを選択するボタンです。
詳しくは[操作>VOICE](#)をご参照ください。
6. **LAYER ボタン**：レイヤーモードの ON/OFF を切り替えます。
7. **SPLIT ボタン**：スプリットモードの ON/OFF を切り替えます。

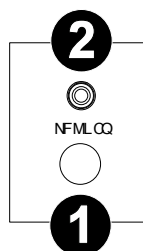
リアパネル



1. **DC 電源アダプター入力**：付属の DC 電源アダプターをここに接続します。
2. **サステインペダル端子**：サステインペダル（付属）もしくは通常の 1/4" (6.35 mm) サステインペダルをここに接続します。
3. **ペダルユニット端子**：3 本ペダルユニット（別売）をここに接続します。
4. **LINE 出力端子**：アンプ、ミキサー、レコーダーなどの外部オーディオデバイスをここに接続します。ステレオ入力デバイスには **R** と **L** の両方を、モノラル出力デバイスには **L** のみ接続します。
5. **AUX 入力端子**：モバイルデバイスやオーディオソースをここに接続します。入力音量は接続するデバイス側で調節してください。
6. **USB ポート**：接続したコンピュータに MIDI データを送信します。

フロントパネル

1. **1/4" (6.35 mm) ヘッドホン出力端子**：1/4" (6.35 mm) ステレオヘッドホンにここに接続します。接続するとヘッドホンから音が出ますが、内蔵スピーカーからは音が出ません。
2. **1/8" (3.5 mm) ヘッドホン出力端子**：1/8" (3.5 mm) ステレオミニジャック・ヘッドホンにここに接続します。接続するとヘッドホンから音が出ますが、内蔵スピーカーからは音が出ません。



操作

クイックスタート

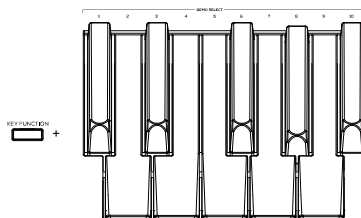
デモソングの再生

本機には 10 曲のデモソングが内蔵されています。

- **Fantaisie-Improptu in C# Minor Opus 66** (即興曲第 4 番 嬰ハ短調 遺作 作品 66)
- **Etude Opus 25 No. 1** (練習曲作品 25-1)
- **Polonaise No. 6 in A Flat Major Opus 53** (ポロネーズ第 6 番 変イ長調 作品 53)
- **Sonata No. 16 in C Major** (ピアノソナタ第 16 番 八長調 K.545)
- **Toccata and Fugue in D Minor** (トッカータとフーガ ニ短調)
- **Prelude and Fugue No. 30 in D Minor** (前奏曲とフーガ ニ長調)
- **Prelude and Fugue No. 1 in C Major** (前奏曲とフーガ ハ短調)
- **Suite of Minuets in F Major** (メヌエット ヘ長調)
- **Danse des Mirlitons** (くるみ割り人形 第 7 曲 葦笛の踊り)
- **Wedding March** (結婚行進曲)

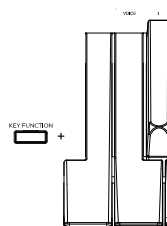
デモソングを再生するには：

1. **デモソングを再生する**には、KEY FUNCTION ボタンを押しながら **C#2～A#2** の鍵盤のいずれかを押します。
2. **デモソングを停止する**には、**REC/START/STOP** ボタンを押します。



VOICE デモの再生

VOICE 選択ボタンで使用する各 **VOICE** プリセットには **VOICE** デモがあります。**KEY FUNCTION** ボタンを押しながら **C2** の鍵盤を押すと、選択中 **VOICE** のデモが再生されます。レイヤーモードもしくはスプリットモードが ON になっている状態では、初めに設定した「メイン **VOICE**」のデモが再生され、**R2 VOICE/L1 VOICE** (サブ **VOICE**) のデモは再生されません。**R2 VOICE/L1 VOICE** について詳しくは後述する項目をご参照ください。



VOICE

VOICE プリセットには4つの VOICE カテゴリーがあり、各カテゴリーには4種類のバリエーションがあります。計16の VOICE から演奏する音色を選択することができます。

VOICE カテゴリー	PIANO	ELECTRIC PIANO	ORGAN	STRINGS/ SYNTH
バリエーション 1 (LED・白)	Grand Piano	Mark I	Jazz Organ	String Ensemble
バリエーション 2 (LED・緑)	Dark Grand	Suitcase	Rock Organ	Upright Bass
バリエーション 3 (LED・赤)	Bright Grand	Wurli	Pipe Organ 1	Polysynth
バリエーション 4 (LED・青)	Harpsichord	FM Piano	Pipe Organ 2	Synth Bass

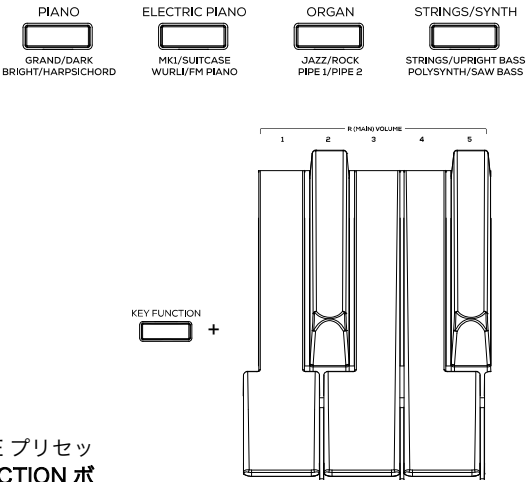
演奏する VOICE を選択するには：

- 4つの **VOICE 選択ボタン**の中から好きなカテゴリーのボタンを1つ押し、カテゴリーを選びます。押したボタンのLEDが点灯します。
- 手順1で押した **VOICE 選択ボタン**を再度押し、カテゴリー内の VOICE バリエーションを選択します。ボタンを押す度にバリエーションが切り替わり、ボタンのLEDの色が変化します（上の表をご参照ください）。
- 鍵盤を弾くと選択した VOICE の音色が鳴ります。

メインの音色として選択した VOICE プリセット（メイン VOICE）は、**KEY FUNCTION ボタン**を押しながら **D6～F#6** の鍵盤（右図参照）を押すと音量レベルを5段階まで調節することができます。

各鍵盤を押すことで設定できる音量レベルは以下の通りです。

音量レベル	鍵盤
1	G6
2	G#6
3	A6
4	A#6
5	B6



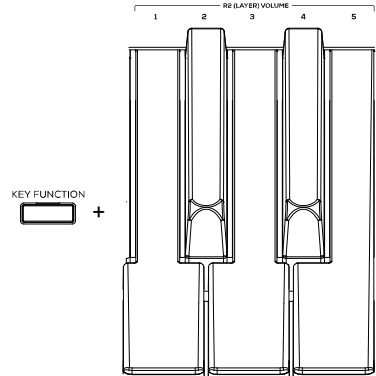
レイヤーモード

レイヤーモードでは、2つの異なる VOICE を重ねることで、より豊かな音色で鍵盤を演奏することができます。

レイヤーモードを ON にするには：

1. **LAYER** ボタンを押します。レイヤーモードが ON になり、ボタンの LED が点灯します。ここではレイヤーモードで重ねる2つ目のサブ VOICE を R2 VOICE と呼びます。
2. R2 VOICE を選択するには、**LAYER** ボタンを押しながら **VOICE 選択ボタン** を（必要に応じて数回）押します。
3. R2 VOICE は、**KEY**

FUNCTION ボタンを押しながら **G6～B6** の鍵盤（右図参照）を押すと音量レベルを5段階まで調節することができます（前項のメイン VOICE の音量レベル調節時とは違う鍵盤を使用するのでご注意ください）。



各鍵盤を押すことで設定できる音量レベルは以下の通りです。

音量レベル	鍵盤
1	G6
2	G#6
3	A6
4	A#6
5	B6

4. レイヤーモードを OFF にするには、再度 **LAYER** ボタンを押します。レイヤーモードが OFF になり、ボタンの LED が消灯します。

注意：レイヤーモードを使用する際、最初に **VOICE 選択ボタン** を押して選択した VOICE が「メイン VOICE」として設定され、2度目に **VOICE 選択ボタン** を押して選択した VOICE は「サブ VOICE (R2 VOICE)」として設定されます。

注意：レイヤーモードでは、同じ VOICE カテゴリーの中の2つのバリエーションを重ねることはできません（例：Jazz Organ と Rock Organ を重ねて演奏する、など）。

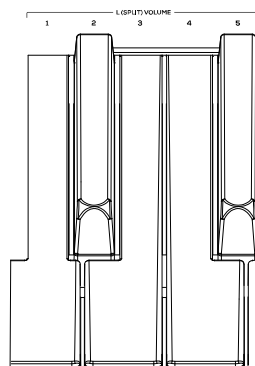
スプリットモード

スプリットモードを ON にすると、88 鍵盤を左右 2 つのゾーンに分割し、2 つの異なる voice をそれぞれのゾーンに割り当てて演奏することができます。例えば、右手側には Piano の voice を、左手側には STRINGS/SYNTH カテゴリーの Bass の voice を割り当て、同時に演奏することが可能になります。スプリットモードで左手側のゾーンに割り当てた voice を L1 VOICE と呼びます。

スプリットモードを ON にするには：

1. **SPLIT** ボタンを押します。スプリットモードが ON になり、ボタンの LED が点灯します。
2. **SPLIT** ボタンを押しながら **VOICE 選択ボタン** を（必要に応じて数回）押し、L1 VOICE を選択します。
3. **SPLIT** ボタンを押しながら 88 鍵盤のどれか 1 つを押します。ここが左右 2 つのゾーンの分割ポイントとなります。
4. L1 VOICE は、**KEY FUNCTION** ボタンを押しながら A6～C#6 の鍵盤（右図参照）を押すと音量レベルを 5 段階まで調節することができます。

KEY FUNCTION +



前項のメインVOICEの音量レベル調節時とは
違う鍵盤を使用するのでご注意ください。

各鍵盤を押すことで設定できる音量レベルは以下の通りです。

音量レベル	鍵盤
1	A6
2	A#6
3	B6
4	C6
5	C#6

注意：スプリットモードを使用する際、右手側に割り当てた「メイン VOICE」の音量レベルを調節する方法は、本書 8 ページ目の **VOICE** の項目をご参照ください。

5. スプリットモードを OFF にするには、再度 **SPLIT** ボタンを押します。スプリットモードが OFF になり、ボタンの LED が消灯します。

アドバンス機能

メトロノーム

メトロノーム機能は、一定のテンポで演奏する練習に役立ちます。

メトロノームのテンポ (BPM) は、BPM30～280 (毎分 30～280 拍)まで自由に調整できます。

注意：デモソングの再生中にメトロノームを使用することはできません。

メトロノーム機能のON/OFFを切り替えるには、KEY FUNCTION ボタンを押しながらB3にあたる鍵盤を押します。

メトロノームのテンポをタップ機能で設定するには、KEY FUNCTIONボタンを押しながらC3にあたる鍵盤をお好みのスピードで何度かタップします。

メトロノームのテンポをデフォルトのBPM 120に戻すには、KEY FUNCTION ボタンを押しながらC#3にあたる鍵盤を押します。

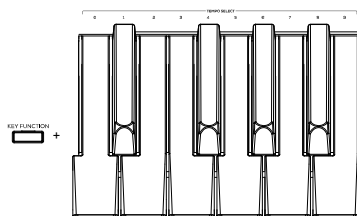
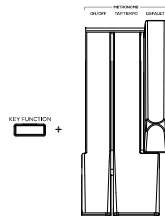
メトロノームのテンポを手動で設定するには、KEY FUNCTIONボタンを押しながらD3～B3にあたる鍵盤を使用し、3桁の数字を入力してテンポを設定します (030～280まで)。

メトロノームの音量を調節するには、KEY FUNCTIONボタンを押しながら、お好みの音量になるまでC4もしくはC#4にあたる鍵盤を (必要に応じて何回か) 押します。音量は1～5の範囲で設定できます。

メトロノームの音量をデフォルトの4に戻すには、KEY FUNCTION ボタンを押しながらD4にあたる鍵盤を押します。

メトロノームの拍子を変更するには、KEY FUNCTIONボタンを押しながら、任意の拍子で鳴るまでD#4もしくはE4にあたる鍵盤を (必要に応じて何回か) 押します。

メトロノームの拍子をデフォルトの4分音符に戻すには、KEY FUNCTION ボタンを押しながらF4にあたる鍵盤を押します。



ユーザーソングモード

ユーザーソングを録音/再生するには：

1. **REC/START/STOPボタン**を押し、ユーザーソングモードに入ります。
REC/START/STOPボタンのLEDが素早く点滅します。
2. 鍵盤で演奏を始めると録音が始まり、REC/START/STOPボタンのLEDがゆっくり点滅します。メトロノームを使用している場合、ボタンのLEDはメトロノームのテンポに合わせて点滅します。
3. 再度**REC/START/STOPボタン**を押して録音を停止します。ボタンのLEDは点滅を止め、点灯した状態になります。これはユーザーソングが録音されたことを示します。
4. 再度**REC/START/STOPボタン**を押すと、録音したユーザーソングが再生され、ボタンのLEDがゆっくり点滅します。もう一度**REC/START/STOPボタン**を押すとユーザーソングの再生は停止し、REC/START/STOPボタンのLEDは点滅を止め、点灯した状態になります。REC/START/STOPボタンのLEDが点灯した状態は、録音されたユーザーソングが存在し、再生が停止している状態を示します。
5. **REC/START/STOPボタン**を3秒以上長押しすると録音したユーザーソングが削除され、ボタンのLEDが3回点滅します。

重要：ユーザーソングモードについて

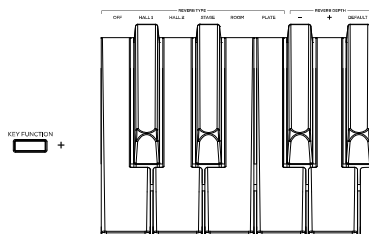
- ・ 録音したユーザーソングは、削除するまで本体のメモリに残ります。
- ・ ユーザーソングの録音中に、ユーザーソングの長さが本体の内蔵メモリ容量を超えてしまった場合、録音は強制的に終了し、それまでの演奏内容がユーザーソングとして自動的に保存されます。

リバーブ

リバーブエフェクトを使用すれば、サウンドにリバーブ効果をかけることができます。

リバーブエフェクトを設定するには、**KEY FUNCTION**ボタンを押しながら**C5～F5**の鍵盤（右図参照）を押します。

各鍵盤を押すことで選択できるリバーブエフェクトの設定は以下の通りです。



リバーブエフェクト	鍵盤
リバーブ OFF	C5
Hall 1	C#5
Hall 2	D5
Stage	D#5
Room	E5
Plate	F5

リバーブのかかり具合（Depth）のレベルを調節するには、**KEY FUNCTION**ボタンを押しながら、お好みのレベルになるまで**F#5**もしくは**G#5**にあたる鍵盤を（必要に応じて何回か）押します。Depth レベルは1～5の範囲で設定できます。

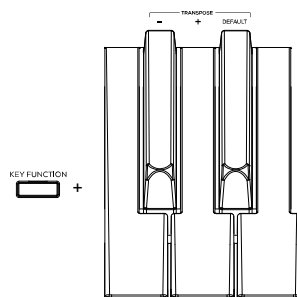
リバーブのDepthレベルをデフォルトの4に戻すには、**KEY FUNCTION**ボタンを押しながら**G#5**にあたる鍵盤を押します。

トランスポーズ

トランスポーズ機能を使用すれば、88鍵の全体的なピッチを、上下どちらの方向にも半音刻みで最大1オクターブまで移調することができます。

トランスポーズ機能を使用するには、**KEY FUNCTION** ボタンを押しながら **F#4** または **G4** にあたる鍵盤を（必要に応じて何回か）押します。

オクターブの位置をデフォルトの位置に戻すには、**KEY FUNCTION** ボタンを押しながら **G#4** にあたる鍵盤を押します。

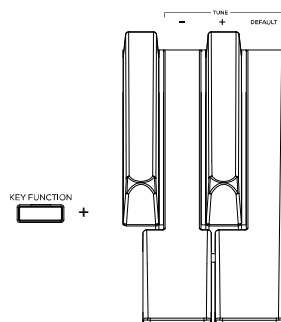


チューニング

チューニング機能を使用すれば、88鍵の全体的なピッチを、上下どちらの方向にも50セントまで（2セントずつ）微調整することができます。

チューニング機能を使用するには、**KEY FUNCTION** ボタンを押しながら **A4** または **A#4** にあたる鍵盤を（必要に応じて何回か）押します。

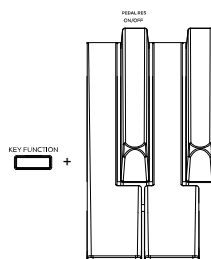
チューニングの位置をデフォルトの位置（0セント/A = 440 Hz）に戻すには、**KEY FUNCTION** ボタンを押しながら **B4** にあたる鍵盤を押します。



ペダル・レゾナンス

ペダル・レゾナンス機能は、実際のピアノでサステインペダルを踏んだときの音の残響をシミュレートする機能です。ペダル・レゾナンス機能をONにすると、実際のピアノでサステインペダルを使用した際のような豊かな倍音と独特のサウンド特性を再現することができます。

ペダル・レゾナンス機能のON/OFFを切り替えるには、**KEY FUNCTION** ボタンを押しながら **F#7** にあたる鍵盤を押します。



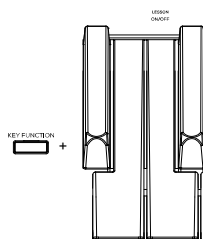
レッスンモード

レッスンモード機能を使用すると、88 鍵を 44 鍵ずつ、キーボードの真ん中で2つのゾーンに分割し、キーボード一番左の1 鍵目～44 鍵目と、真ん中の 45 鍵目～88 鍵目の2つのゾーンがそれぞれ同じ音階から始まる設定で演奏することができます。この機能を使用すれば、キーボードの左側と右側でピアノの先生と生徒さんの二手に分かれてレッスンを行うことなどが可能になります。

注意：レッスンモード使用中は、レイヤーモードとスプリットモードは強制的に OFF の状態になります。

注意：デモの再生中にレッスンモードを選択することはできません。

レッスンモード機能のON/OFFを切り替えるには、KEY FUNCTION ボタンを押しながらF7にあたる鍵盤を押します。



設定

その他の設定を変更するには：

キーボードの 88 鍵のタッチ感度を設定するには、KEY FUNCTION ボタンを押しながら、下記の鍵盤のいずれかを押して設定を選択します。

- **Fixed (C#7)：**鍵盤を押さえる強弱に関係無く一定の音量レベルで演奏できる設定です。
- **Soft (D7)：**鍵盤を押さえる強弱により、音量レベルが**少しだけ**変化する設定です。
- **Medium (D#7)：**鍵盤を押さえる強弱により、音量レベルが**変化する**設定です。この設定が本機におけるタッチ感度のデフォルト設定になっており、通常のピアノのレスポンスに最も近いタッチ感度です。
- **Hard (E7)：**鍵盤を押さえる強弱により、音量レベルが**大幅に**変化する設定です。この設定では、大きい音量レベルを出すには強目に鍵盤を押さえる必要があります。

MIDIチャンネルを変更するには、KEY FUNCTIONボタンを押しながら任意のMIDIチャンネルが選択できるまでG7もしくはG#7にあたる鍵盤を（必要に応じて何回か）押します。MIDIチャンネルは、1～16まで選択できます。デフォルトの設定では、MIDIチャンネルは1に設定されています。

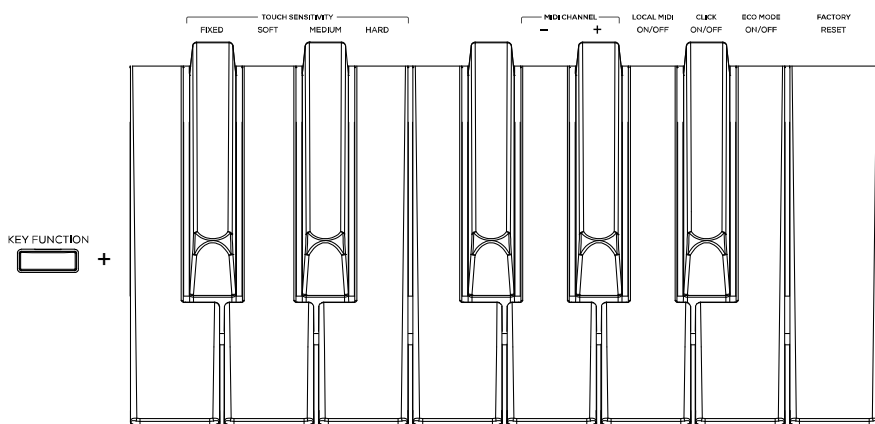
MIDIのローカルコントロールのON/OFFを切り替えるには、KEY FUNCTIONボタンを押しながらA7にあたる鍵盤を押します。デフォルトの設定では、MIDIのローカルコントロールはONの状態に設定されています。ONに設定すると、鍵盤の演奏がMIDIメッセージとしてUSB-MIDI出力に送信され、演奏する音も本機のスピーカーから聞こえます。OFFに設定すると、鍵盤の演奏はMIDIメッセージとしてUSB-MIDI出力に送信されますが、演奏する音は本機のスピーカーから聞こえなくなります。

設定変更時に鳴るクリック音のON/OFFを切り替えるには、KEY FUNCTIONボタンを押しながらA#7にあたる鍵盤を押します。

ECOモード(オートパワーOFF機能)のON/OFFを切り替えるには、KEY FUNCTIONボタンを押しながらB7にあたる鍵盤を押します。

注意：デフォルトの設定では、オートパワーOFF機能は30分に設定されており、約30分操作をしない状態が続くと、自動的に電源がOFFになります。

ファクトリーリセット（工場出荷時の状態に戻す）を行うには、KEY FUNCTIONボタンを押しながらC8にあたる鍵盤を押します。



付録

技術仕様

Keyboard	88 graded hammer-action keys
Polyphony	128
Sounds	16
Demos	10 piano demo songs
Metronome Tempo Range	30-280 BPM
Speakers	Speaker Configuration: Micro-Array Total Amp Power: 50 W (25 W x 2) • Woofers: (4) 2.5" woofers • Passive Radiators: (4) 2.5" passive radiators
Connectors	(2) 1/4" (6.35 mm) TRS line outputs (1) 1/4" (6.35 mm) TRS headphone output (1) 1/8" (3.5 mm) TRS headphone output (1) 1/4" (6.35 mm) TRS sustain pedal input (1) 3-Pedal DIN connector (1) USB Type-B port (1) Power adapter input
Power	12V DC 3A, center-pin positive power adapter (included)
Size (W x D x H)	132.2 x 29.7 x 14.9 cm
Weight	12.8 kg

※仕様は予告なく変更になる場合がございます。

商標およびライセンス

Alesis は、inMusic Brands, Inc., の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

その他すべての製品名あるいは会社名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

alesis.com